

事務事業評価表

1. 基本事項 作成日 令和08年06月19日(金)

事務事業		公共下水道管渠建設事業		担当課	下水道工務課	担当係	整備係	管理番号	43211
総合計画	大項目	5 快適で利便性の高いまち		事業区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
	中項目	1 都市整備の行き届いたまちづくり		根拠法令 個別計画等	下水道法、深谷市生活排水処理基本計画、深谷市公共下水道及び都市下水路の構造の技術上の基準等に関する条例				
	小項目	2 水の安定供給と下水処理の適正化							
	主要プロジェクト								
事業概要		下水道計画区域内の公共下水道管渠整備を行うものである。							
目的 ※何のために		市民の快適な生活環境を確保するため。							
対象 ※誰・何を対象に		下水道計画区域内。							
手段 ※どのように		下水道計画区域内の未整備地区において、公共下水道管渠工事を行う。							
成果 ※何を求めるか		汚水の円滑な排除を行う。							
執行体制		☒ 職員 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 指定管理 ☐ 市民ボランティア ☐ NPO等 ☐ その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・ 汚水管渠整備				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			

2. 事業費（投入コスト） 単位：円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0	
	決算額	0	0	0	0	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		他特定財源	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	
人件費	従事職員数（人）	4.46	4.46	4.46	4.46	4.46	
	人件費相当試算※	35,098,225	35,725,336	36,671,195	37,807,840	39,285,861	
総事業費試算		35,098,225	35,725,336	36,671,195	37,807,840	39,285,861	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
活動指標 1	管渠整備面積	目標値	ha						
		実績値		15.27	16.32	18.99	19.16		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		深谷市上下水道事業経営戦略 / 当該年度実績						
	実績値の算出式								
成果指標 1	管渠整備進捗率	目標値	%	93.60	93.95	94.30	94.98	95.33	95.65
		実績値		92.28	93.11	94.14	95.13		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		深谷市上下水道事業経営戦略 / 整備面積の累計／目標整備面積						
	実績値の算出式			1782／1931	1798／1931	1818／1931	1837／1931		
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
 (評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	19.16haの整備を完了した。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	整備進捗率が95.13%と目標を達成できた。令和7年度工事及び繰越工事も完了でき計画通りに進捗が図れた。
			評価者 整備係長 桑田徹也

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
 (評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	現在、下水道計画区域内の未普及地区において公共下水道管渠整備を進めており、令和7年度に予定していた整備については、計画通り完成した。
			評価者 整備係長 桑田徹也